

連載

鉄道写真家 櫻井 寛

列車で行こう!

Let's go by train!

Railway-Photographer Kan Sakurai



第1回 特急「ゆふ森」で行こう!



J R九州は魅力的なD&S列車(観光列車)を多数運行しているが、中でもパイオニアとなったのが「ゆふ森」こと「ゆふいの森」号である。今から35年前、JR九州発足から2年後の1989年に九州初のリゾート特急「ゆふいの森」号は誕生した。列車名は由布院駅、湯布院温泉、湯布院町(現・由布市)など、発音は同じでも漢字が異なることから平仮名とし「ゆふいの森」と命名された。それまでの特急といえば「ひかり」「こだま」など名詞一字だったが、格助詞の入った初の特急となった。外観にはまさに「ゆふいの森」をイメージさせる濃い緑色を採用。車内は眺望のよいハイデッカーで、インテリアには天然木が多用され、列車内に居ながらにして、あたかもゆふいの別荘に来たかのような気分が味わえるというわけだ。

特急「ゆふいの森1号」の博多駅発車は9時17分。5両編成で1番

人気は先頭1号車のパノラマ展望席だが、あいにく展望席は売り切れのため私が選んだのは4号車のキサハ72形だった。4号車は森の中にいるかのようなインテリアなのだが、実はこの車両のみ床下にエンジンがない。その分、静かな乗り心地が楽しめるのである。博多駅からおよそ30分で久留米駅に到着。ここまでは鹿児島本線だが、同駅を発車すると進路を久大本線に向ける。久大本線は久留米と大分を結ぶ九州横断路線。九州の背骨に相当する脊梁山脈を越える山岳路線だ。それだけに車窓には山と渓谷が織り成す絶景が連続し、乗客たちの目を楽しませてくれる。途中、天領の水郷・日田、露天温泉で有名な天ヶ瀬、扇形機関庫が残る豊後森の3駅に停車し、11時31分、由布院駅に到着した。駅前通りの正面に由布岳(1,583m)がそびえる。今宵の宿は、由布岳を仰ぐ「湯布院カントリーロードユースホテル」で決まり!



鉄道写真家 櫻井寛

1954年長野県生まれ。鉄道員を目指し昭和鉄道高校に入学したが、在学中に鉄道写真の魅力にとりつかれ写真家に転向、日本大学芸術学部写真学科卒。出版社写真部に15年間勤務。90年にフォトジャーナリストとして独立し、今日に至る。93年、航空機を使わず陸路・海路のみで88日間世界一周。94年『鉄道世界夢紀行』で交通図書賞受賞。旅した国は95ヵ国、渡航回数は250回超。写真集『列車で行こう! The Railway World』(世界文化社刊)など著書多数。日本写真家協会、日本旅行作家協会会員。東京交通短期大学客員教授。



日本ユースホステル協会は日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟 (Hostelling International) や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

こどもはおとなに。
おとなはこどもに、
なれる場所。



Hostelling Magazine vol.37



Cover Interview

渡部陽一

まずは“ひとつだけ”でいい。
相手のことを知ってみることから、
変えていこう。

P.02



Youth Hostel Pick up

乗鞍高原温泉
ユースホステル

「人と人のつながり」を紡ぐ
標高1,500mの温泉宿

P.08



Hostelling Magazine

× 地球の歩き方

パルの美食に酔いしれる
スペイン、バスク地方の旅

P.12



鉄道写真家 櫻井 寛

「列車で行こう！」

P.16



松島むうの

晴れときどき旅びより

P.18



YH-GUIDE

ユースホステルガイド

北海道 / 青森県 /
岩手県 / 宮城県 /
秋田県 / 山形県

P.20



Hostelling Magazine vol.37

まとめてダウンロード

※本誌の情報は2024年6月20日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。

発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会 編集・発行人 寺島 真

TEL. (03)5738-0546 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1国立オリンピック記念青少年総合センター内

※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。